

平成26年8月

税法学原論研究会 第10回のお知らせ

東京青年税理士連盟
会 長 芳賀 保則
研究部長 平良 夏木

皆様、こんにちは。税法学原論研究会第10回を下記要領で実施します。

今回は、「納税義務の成立・確定」がテーマです。私たち税理士の日常業務に、所得税や法人税などの確定申告書の作成・提出という税額確定手続きがあります。では、そもそも（あまり意識されたことは無いかもしれませんが）「納税義務の成立・確定」について、税法学上や実務上どのような問題点があるのでしょうか。そして税務署と対応する際に注意すべき点があるのでしょうか。

また、課税庁からの更正・決定も「納税義務の確定」であり、この場合の更正・決定通知書に記載されている「理由」は記載されていればよいのではないため、どの程度の内容が記載されていれば適法となるのでしょうか。また、そもそも「理由」がない通知は、その処分は違法なのでしょうか。

ご承知のとおり平成24年国税通則法改正により、白色申告への更正理由附記も規定されましたので、今回は、この（白色申告を含む）「理由附記の規定」の法的性格やその問題点についても一緒に勉強していきましょう。

さらに、今回は通常「オブザーバー」をお引き受けいただいている小池幸造会員自らが「チューター」をしていただける貴重な勉強会になります。新入会員の方々にもお勧めですので、奮ってご参加ください。

また、勉強会後には懇親会を行います。会員同士の情報交換の場でもありますので是非ご参加ください。お待ちしております！

記

日 時 : 平成26年9月12日(金) 18:40~21:00

場 所 : 東京税理士会館 (下記地図参照)

チューター : 小池 幸造会員 (元静岡大学教授)

対 象 : 会員・準会員

内 容 : 税法学原論第6版

第14章 納税義務の成立

第15章 納税義務の確定

参 加 費 : 500円 (資料代)

(今後の開催予定: 後半)

	開催予定日	章 テーマ
10	9月12日(金)	14 納税義務の成立
		15 納税義務の確定
11	10月14日(火)	16 連帯納税義務制度
		17 第二次納税義務制度
		19 物納・延納・納期限の延長等の法的性質
12	11月 日()	18 税務行政処分の瑕疵論
		20 源泉徴収制度

(開催場所)



なお、当日、テキストの『税法学原論』第6版を定価(本体5,900円+税)のところ、税込み4,950円で販売致しますのでお持ちでない方はこの機会にぜひご購入ください。

※開催日は毎月10日前後を目安に調整し、個別にご案内します。